

今がいちばん幸せ

令和4年11月からご入居された

上野 健 様

現役時代は調剤薬局を5店舗経営されておられた上野様。お仕事を引退されてからも、お酒の飲み歩きや、ゴルフ、スポーツジム通いを好まれ、クルーズ船での日本1周旅行や世界旅行なども楽しまれていたそうです。

奥様をととても大切にされていて、グランガーデンへのご入居前は、奥様の介護をしながらの生活でしたが、奥様の急逝で一転、一人暮らしに。お食事もコンビニやスーパーのお惣菜、宅配弁当の生活に変わり、洗濯や掃除にも疲れ果て、高齢者住宅への入居を検討し始めたそうです。4〜5件施設の見学に行かれる中で、ホームページからグランガーデン熊本を知ったとのこと。

「実際に見学に来たときには玄関のシヤンデリアと螺旋階段にびっくりしましたね。実際に施設を見てみて、

- “ 緑の中の熊本城を望む景観 ”
- “ 充実した共用施設 ”
- “ 明るいレストランに広々した大浴場 ”
- “ 防火・緊急設備の整った居室 ”
- “ 館内にクリニックや薬局があること ”
- “ 将来は介護居室に住替えられること ”

“ 街中という好立地 ”

など、最高の環境であることがわかり、すぐに入居を決めました」と話されます。

ご入居当時、92歳という高齢であることに加え、コロナ禍でもあったことから、2mのソーシャルディスタンス、マスク着用というコミュニケーションが取りづらい状況ではあったものの、すぐに友人もできたそうです。

「部屋の近所の方が親切に声をかけてくれてね、いろんな方を紹介してくれたりして、すぐになじむことができました。歓迎会もしてくれて、今でも定期的に集まっています。スタッフも皆親切ですしね、もうスタッフの下の名前まで覚えてしまいましたよ」と笑って話してくださいました。

入居してからの生活を伺うと、
「私の部屋は東向きなので、まず朝はオークス通りの大楠を眺めながら朝日を浴びて幸せホルモンのセロトニンの分泌を促します。そのあとはレストランでの朝食、天気の良い日はお城の周りを散歩しながら清々しい空気をいっぱい吸い込みます。また、ライブラリーで新聞3紙を隅々ま

で読むことも日課です。午後の3時から大好きな大浴場での入浴、お風呂上りは部屋で1杯やりながら大相撲を見るのが楽しみです。夕食もレストランでいただきます。レストランでは、毎日できたてのおいしい食事が食べられて、和気あいあいしたスタッフに囲まれて、今が一番幸せです」とお話し下さいました。

生活の中で心掛けていることは「悪いことや嫌なことはすぐに忘れること。80%の力で生活を楽しむこと。」だそうです。
入居からおよそ1年、グランガーデンでの生活を楽しんでいただいている様子を聞いて、私たちスタッフもとても嬉しいです。

